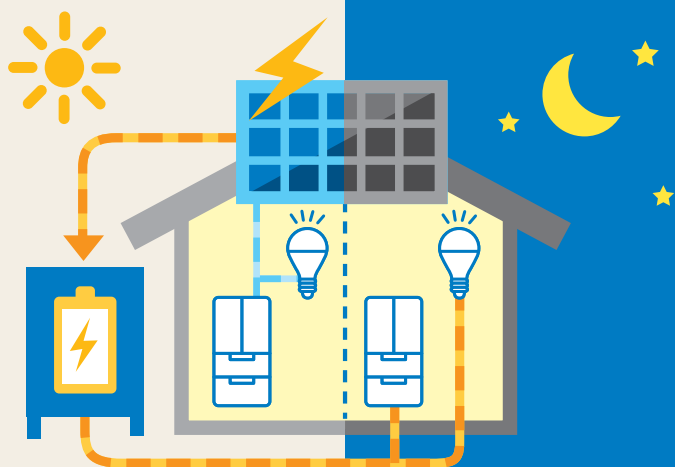


電気は買わない

という選択



電気代と 災害時の不安が いらない生活

太陽光発電と蓄電池で、電気代の節約、地震や台風などによる停電のもしもの時の備えとして、また環境問題への取り組みが可能になります。



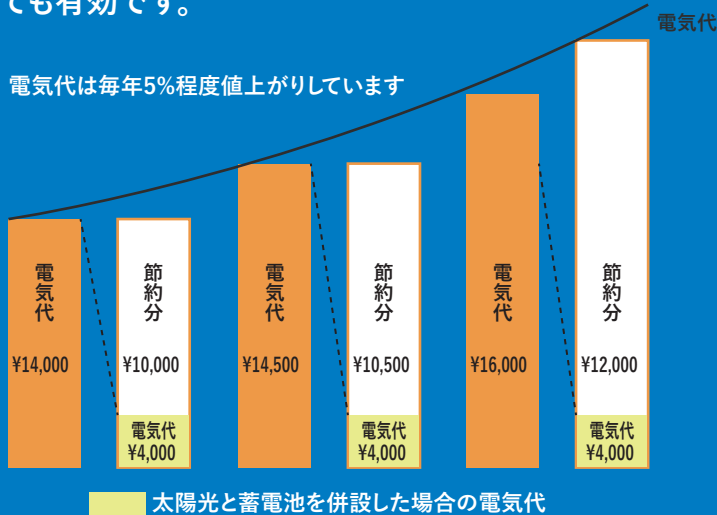
太陽光パネル



蓄電池

上がり続ける電気代

電気代は毎年5%程度値上がりが続いています。
蓄電システムは単に貯めた電気を使うだけでなく
将来にかけて上がり続ける電気代の対抗措置として
も有効です。



一生払い続ける電気代

毎月支払い続ける電気代。
一般家庭で年間15万以上、10年で180万円にも
なります。太陽光と蓄電池を備えることで実質、電気代が
かからない夢のような生活が手に入ります。

		月の電気代(円)		
		10,000	15,000	20,000
支払年数	10年	1,200,000	1,800,000	2,400,000
	20年	2,400,000	3,600,000	4,800,000
	35年	420万円	630万円	840万円



災害時の備えとして

温暖化の影響による、ここ近年の異常気象は日本全国安全と言われる場所は見つけることができません

いざという時に水やガスはもちろんのこと、特に電気がなければ情報すら得ることができません。

停電戸数	
2018年9月台風21号(関西電力管内)	219万戸
2019年9月台風15号(千葉エリア)	64万戸

停電時に使用できる 電化製品・時間の目安

これだけの家電が
長時間使用できます



6.5kWh
タイプ



連続
使用可能
19 時間
約

9.8kWh
タイプ



連続
使用可能
29 時間
約

合計300W

地球温暖化をストップ!



IPCC (気候変動に関する政府間パネル) は地球温暖化はこのまま何もしなければ2030年から2055年の間に気温が1.5℃上昇し2040年までに排出量を実質ゼロにする必要があると発表しています。毎年やってきている「異常気象」は日本だけのものではなく、世界的に「異常気象」は続いておりその被害も甚大なものとなっています。

『温暖化をストップすることはできないの?』進み始めている針を止めることは難しいですがその歩みをゆっくりとすることは可能です。私たちの生活の中で「何ができるのか」それを実行することが温暖化にストップをかける第一歩です。

世界の国々が力を合わせ、 環境破壊の危機に立ち向かう!



持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

太陽光発電と
蓄電池で行える
SDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



体験施設



「まちかどライブラリー」

完全自立型 自家消費型

ライブラリーで使う電気はすべて太陽光で作った電気を蓄電池に貯めて利用しています。電灯線に引いていませんが、照明だけでなく、エアコンやコンセントも24時間使えます。



株式会社テルツツオ

〒665-0022
兵庫県宝塚市野上1丁目1-8
電話:0797-74-0234
FAX:0797-74-0235

あなたの
太陽光発電との暮らしを
ずーっと見守ります。

詳しい資料を
プレゼント！



蓄電池に関する他では
聞けない情報が満載！



ダウンロード

お申し込み・お問い合わせ

<https://terzo.co.jp>

サンキュー イイナサンサン
0120-39-1733